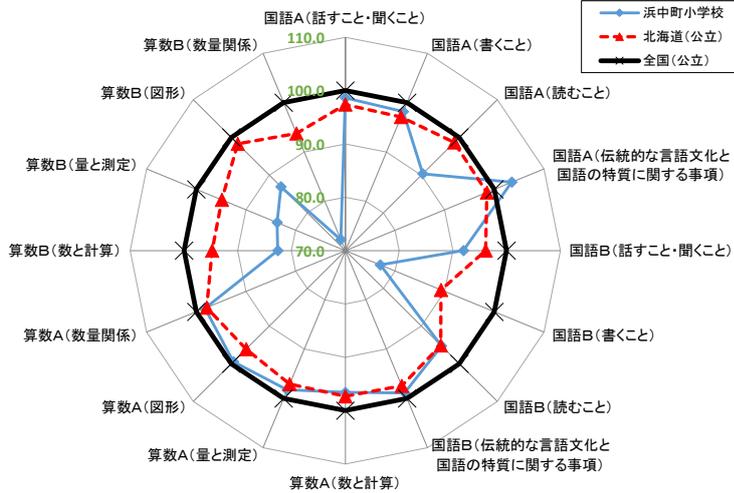


■ 浜中町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:63名)

【教科全体の状況】

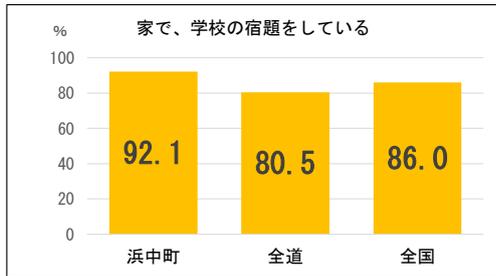
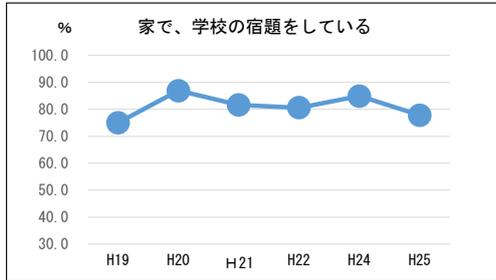
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



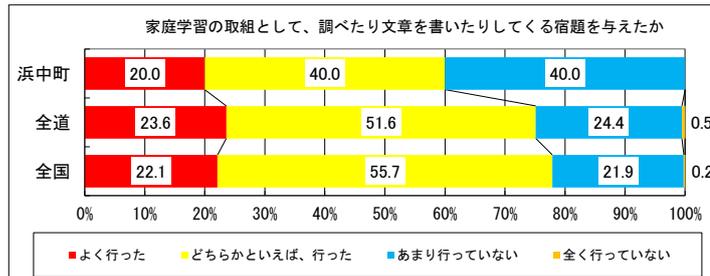
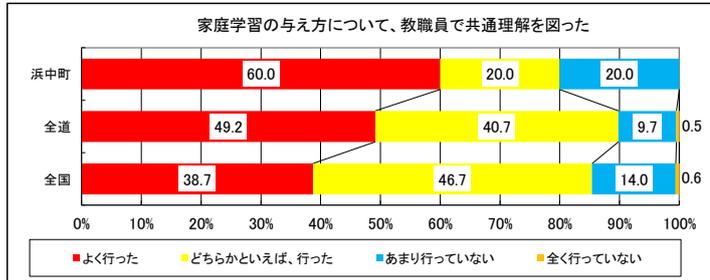
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の正答率が全国と比べて高い。 国語B「書くこと」領域、算数B「数量関係」領域の正答率が他の領域に比べてかなり低い。	○ 各学校の教職員間で家庭学習の与え方について共通理解を深めて、全校的な取組を進めた結果、宿題をしている児童が全道、全国と比べて多くなっており、国語の漢字や算数の計算問題などの力が付いてきていると考えられる。
児童質問紙	○ 「1日のテレビの視聴時間」「1日のゲームをする時間」「スマホで通話やメールをする時間」が多い傾向にある。 ○ 家で学校の宿題をしている児童が全道、全国と比べて多い。	
学校質問紙	○ 家庭学習の課題の与え方について、共通理解が図られたが、知識・技能の内容に偏った傾向があった。 ○ 家庭学習の取組として、「調べたり文章を書いたりしてくる宿題」を与えた割合が低い傾向にある。	

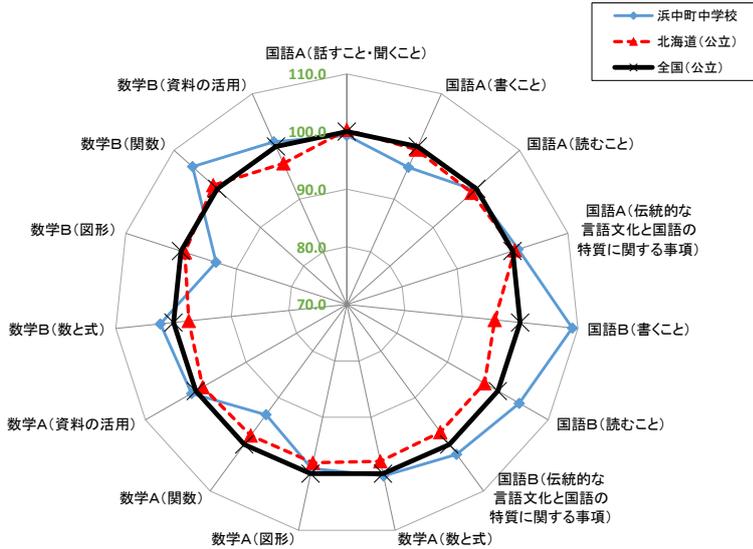
【浜中町の学力向上策】

- ◎ 学びの連続性を確保するための小中の連携を推進
- ◎ 低位学力層の解消のために、長期休業中の学習サポートを充実するとともに学習習慣の確立に向けた保護者への啓発活動を推進

■ 浜中町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:47名)

【教科全体の状況】

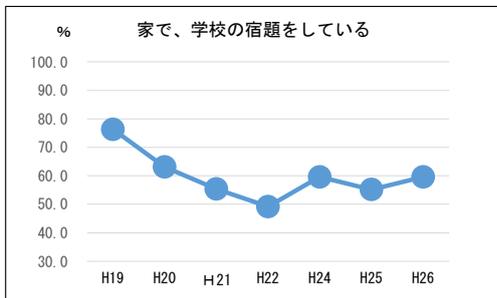
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



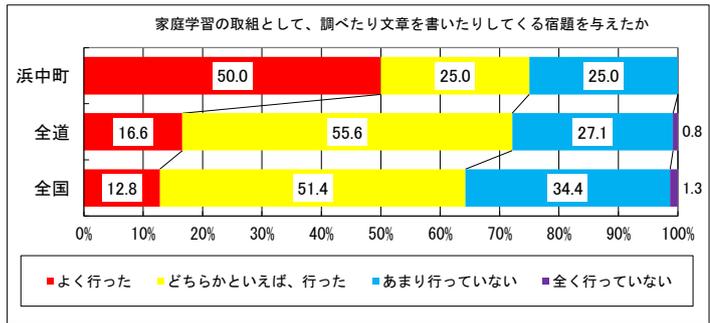
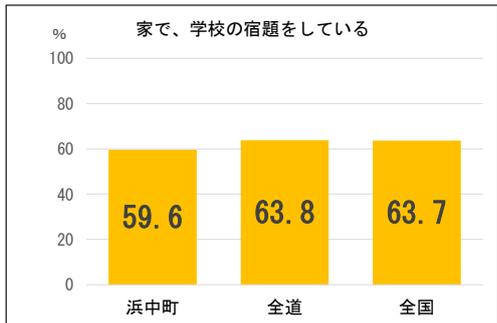
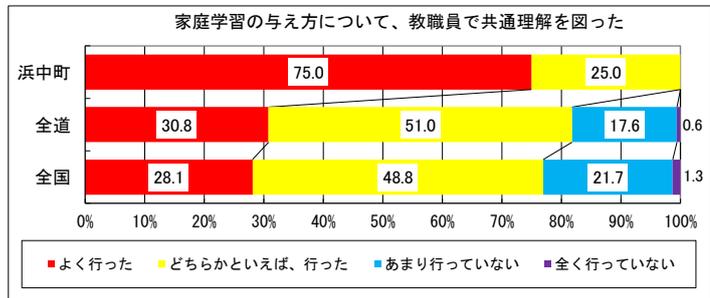
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語B「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学A「数と式」「資料の活用」、数学B「数と式」「関数」「資料の活用」の正答率が全国と比べて高い。	○ 各学校の教職員間で家庭学習の与え方について共通理解を深め、全校的な取組を進めた結果、宿題をしている生徒が昨年度より増えてきており、基礎的な内容はもとより活用する力も高まっている。
生徒質問紙	○ 家で学校の宿題をしている生徒が昨年度より増加しているが、全国に比べるとやや低い。 ○ 「1日のテレビの視聴時間」「1日のゲームをする時間」「スマホで通話やメールをする時間」が多い傾向にある。	
学校質問紙	○ 家庭学習の課題の与え方について、共通理解が図られており、「調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与える宿題」を出すなど内容も工夫されている。	

【浜中町の学力向上策】

- ◎ 学びの連続性を確保するための小中の連携を推進
- ◎ 低位学力層の解消のために、長期休業中の学習サポートを充実するとともに学習習慣の確立に向けた保護者への啓発活動を推進